取り巻く環境は、人口減少や節水型社会の進展に伴う収入の減少、諸施設の老朽化に対する更新需要の増大など、厳しい状況が続いています。また、自然災害への危機管理対策、GX推進など、さまざまな課題に直面しています。これらの課題を克服するための挑戦を継続的し、健全な水道事業を次世代へ引き継ぐという役割を果たしていきます。

②知行合一

③登山（日本百名山完登に挑戦中）、ゴルフ

④いわゆる2040年問題を見据え、ワークライフバランス、仕事のやり方、人材の育成などしっかり考えなくてはならないと感じます。これまで以上に老若男女を問わず社会的な役割が求められることとなるでしょうから、DXなどを進めるとともに、一人ひとりがその意識をしっかり持って行動していくことが必要だと思います。

⑤静岡市総務局長、昭和38年10月6日

水の恵みを未来へ

長野県企業局公営企業管理者　吉沢　正

①2021年に発足60周年を迎えた長野県企業局は、都道府県として末端給水と用水供給の二つの事業を経営する全国で唯一の団体です。人口減少時代を迎え、水需要の減少や施設の老朽化、専門人材の不足といった課題への対応が求められる中、住民に最も身近なライフラインである水道に関しては、安全・安心な水を安定的に供給できる体制の構築が急務となっています。長野県では、今年3月に改定した水道ビジョンを「水道広域化推進プラン」として位置付け、広域連携に関する取組みを進めることとしており、当企業局においても、関係市町村と共に広域化に向けた具体的検討に取り組み、信州の豊かな水の恵みを未来へつないでまいります。

②「現場起点・現場の視点を大切に取り組みます。

③3月まで里山整備の支援に取り組んでおり、信州の里山歩きを楽しみたいです。

④国・地方それぞれが「確かな暮らしを守り、ゆたかな社会を創る」取組を進めることが大切と考えます。

⑤林務部長、昭和37年11月18日

バラ色の未来

飯田市上下水道局長　佐々木　力

①飯田市の水道事業は集中投資が行われた拡張期から40年以上が経過し施設の老朽化が顕在化している。将来にわたり、安全安心な水道水を安定して供給するためには、事業を先送りして次世代にツケを残すことがないよう、市民の皆さまに事業をよくご理解いただいて、必要な財源・技術力を確保し、着実に更新計画を進める必要がある。

②一見して馬鹿げてないアイデアは見込みがない

③ピアノ（上達しない）

④水道事業の広域化・統廃合が可能な地域では、国・県の支援が期待できるが、当市や周辺地域のように給水区域が点在し、どんなに考えても広域化・統廃合のやりようがない水道事業には支援が少なく取り残されている感がある。温暖化による豪雨災害の発生、施設老朽化による不具合増大の中、限られた人員で、市民の皆さまに快適に水道をご利用いただけるよう職員は努力を続けている。水道事業をどうやってバラ色の未来にするか課題である。

⑤水道課長、昭和40年1月7日

ライフライン

十日町市上下水道局長　山田　直樹

①水道部局は6年ぶりになりますが、改めて施設の老朽化が大きな課題であると実感しています。適正な施設管理と経営の泰定化に向け令和4年度には料金改定を行いました。これからも安全・安心な市民生活の維持に努めてまいります。

②特に座右の銘等こだわりは無いですが、誰にでも平らに接することを心掛けています。

③最近換えたクルマ（MT）の運転、仲間とのバンド活動（ドラム）、自転車

④当市は山間集落の簡易水道施設を多く抱え、いずれも施設の老朽化に加え高齢化・人口減少が顕著な状況であることから、将来的な施設統合や広域連携など効率的管理手法等について、同様の課題を有している自治体の皆様と情報共有や意見交換させていただければ幸甚です。また、当方環境エネルギー部長も併任していることから、当市が推し進めている再生可能エネルギー創出や脱炭素の取組みを、上下水道事業とも連携し推進したいと考えています。

⑤建設部建設課長、昭和43年7月10日

為すべきを為す

金沢市公営企業管理者・企業局長　松田　滋人

①水道事業を取り巻く環境は、人口減少に伴う使用量の減少や施設の老朽化など、一段と厳しさを増していますが、職員とともに、市民のライフラインの確保と安全でおいしい水の供給に努めます。

②為すべきを為す

③読書

④4月に統一地方選挙が行われましたが、投票率が低下していることが心配です。中でも、明日のわが国を担う10代、20代の方には、少しでも政治に関心を持って、大切な選挙権を行使していただきたいと思います。

⑤金沢市総務局長、昭和37年5月23日

守り続ける

松阪市上下水道事業管理者　前﨑　高志

①松阪市の水道は、昭和26年6月に給水を開始して以来、安全、安心な水を安定的に供給してきました。現在、人口減少に伴う水需要の低下やそれに伴う給水収益の減少、水道施設の老朽化対策や多発する自然災害への対応など、さまざまな課題が山積みしております。当市ではこのような課題に対処するため、令和2年3月に「末永く市民に信頼され続ける安全で安定した水道事業」を基本理念に「松阪市水道事業ビジョン」を策定しており、引き続き、このビジョンに基づき、さまざまな課題に対し職員一丸となって取り組んでまいりたいと考えます。

②「衆知」みんなの知恵を集め、組織力を高めることで、困難な課題にも前向きに取り組むことを心がけています。

③野球観戦。イチオシは松阪市出身の中日ドラゴンズの岡林選手

④水道事業におけるインフラは老朽化と資金不足という大きな課題に直面しています。安全でおいしい水を守り続けるため、インフラ整備における、さらなる国からの手厚い財政支援を望みます。

⑤松阪市上下水道部参事、昭和40年10月11日

一気通貫！

和泉市上下水道部長　林田　勝巳

①上下水道部・部長を拝命いたしました林田勝巳でございます。水道事業にとっての変革期において、この大役をしっかり果たせるように、諸問題に果敢に取り組んでまいります。

②「一気通貫」をモットーに、やると決めたらスピード感をもってとことんやる、成し遂げるまでやりきります。

③デジタル全盛時代において、紙媒体の新聞を丁寧に熟読することが趣味の一つでございます。関心事は、ズバリ水道事業の「ミライ」についてでございます。

④諸先輩から引継がれてきた、安全安心のインフラを将来世代にわたって維持することが私たちの使命。それを担う技術系職員が圧倒的に不足する見通しであり、国をあげて人材育成にあり方を考える必要があります。

⑤上下水道部次長

水道安定供給

近江八幡市水道事業所長　福本　盛重

①本市の水源は、琵琶湖と地下水です。県水と自己水とのバランスを取りながら、安定した供給に努めています。

②自然の恵みに感謝して（自然のサイクルの中で水道を供給していることから）

③自然災害の激甚化で日常生活のリスクが高まっていることから、一人一人が備えていくことと、地域での支え合いの重要性を感じています。

④地球温暖化の影響は大きく、夏には集中豪雨が頻発したり冬には近年経験のない寒波が襲来したり、気候が大きく変わっていることを感じます。水道供給においても影響が出ており、水源での臭気の問題や水道管の凍結による漏水対応など、さまざまな課題を抱えながら業務を進めています。私たちはCO2削減のために出来ることを速やかに実行する時期に来ており、私自身も家庭においては照明器具をLEDに交換したり、通勤においては自家用車ではなく公共交通機関を利用するように努めています。

⑤都市整備部長、昭和38年9月27日

水道の重要性

彦根市上下水道部長　木村　康介

①彦根市の水道事業は昭和35年11月に給水を開始し、今年で63年を迎えます。人口減少等による給水量の減少、老朽化施設の更新および耐震化に係る経費の増加や電気料金の高騰等により厳しい経営状況となりつつありますが、安全で安心してご使用いただける水道水を供給できるよう取り組んでいきます。

②一期一会

③スポーツ観戦（野球・モータースポーツほか）、ドライブ

④私は生まれも育ちも彦根市で、本市の水道を使用してきました。蛇口を捻れば水道水が出てくる状況を当たり前のことと思い生活をしていましたが、水道事業に携わることで、水道の重要性を再確認しました。本市では近年大規模な断水を伴うような事案の発生はありませんが、いつ発生してもおかしくない状況であり、老朽化施設の更新・耐震化を進めるとともに危機管理体制の強化を図り、今後も安全で安心してご使用いただける彦根市の水道を守っていきたいと思います。

⑤次長、昭和40年11月18日

今が正念場

兵庫県企業庁公営企業管理者　梶本　修子

①安全・安心で安定した水道・工業用水は、県民生活や産業活動に欠かすことのできない最重要インフラであり、諸先輩方が長年にわたり積み重ねてこられた技術と努力の結晶でもあると思っています。近年、人口減少や施設の老朽化、専門職員の高齢化など、経営環境は厳しさを増していますが、職員一同知恵を出し、汗をかいて、県民の豊かで質の高い暮らしをしっかりと支えてまいりたい。

②「情報は共有してこそ価値が高まる」「悪い知らせほど迅速に。困ったときには躊躇なく相談を」

③趣味：ベランダ・ガーデニング（バラを育てて20年余。まだまだ修行中）最近の関心：モフモフした生き物が欲しい（何がよいか、ひたすら思案中）

④自由を謳歌し、暮らしの安定や真の豊かさを享受できる社会。他人の役に立つことを良しとする社会。次代を生きる子供たちに、そうした社会を引き継げるよう、今こそ大人が踏ん張るべき時。

⑤企画部長、昭和38年10月

未来へつなぐ

伊丹市上下水道事業管理者　大西　俊己

①伊丹市の水道事業は、昭和11年の給水開始以来、本年で87年目を迎えます。本市においても例外なく人口減少や水道施設の老朽化などさまざまな課題への対応が求められているところです。これらへの取組みとして経営戦略を改訂し、ゼロベースで業務改善を実施するなか経営の安定化を図る一方、向こう30年以内に高い確率で発生すると言われる「南海トラフ大地震」などによる断水等の被害を最小限にくい止める為の対策を進めています。加えて、ゼロカーボンシティ宣言を行った自治体としてエコ電力活用によるCO2排出量削減を実現するなど、今、お住いの市民の皆さま、そして未来の伊丹市民の皆さまに安全で安心できる水道水を確実にお届けできるよう責任ある取組みを進めてまいります。

②悔いることのないよう躊躇せず取り組む

③夫婦一人で食べ歩き

④水道行政の国交省移管「災害発生時の早急な復旧支援に期待」

⑤市議会事務局事務局長、昭和37年8月14日

未来へつなぐ

加古川市上下水道事業管理者　平田　喜昭

①加古川市の水道事業も他市と同様に人口減少や節水機器の普及による水需要の減少と老朽化施設の更新・耐震化などの課題を抱えています。そうした中、水道ビジョンにおいては「時代の変化を乗り越え　安全な水を未来へつなぐ」を基本理念として掲げており、先人たちの築き上げた安全安心な水道水を供給するという絶対的な使命を将来へつなげていくことができるよう、安定した事業運営に努めたいと考えています。

②仕事は楽しく（そのためには前向きに取り組む姿勢が不可欠です）

③プロ野球観戦（阪神タイガース）、ゴルフ、断捨離

④前職で危機管理や災害対策を所管していたこともあり、重要なライフラインである水道事業においては、危機管理意識を高め、想定外を極力な

静岡市・渡辺氏

長野県・吉沢氏

飯田市・佐々木氏

十日町市・山田氏

金沢市・松田氏

松阪市・前﨑氏

和泉市・林田氏

近江八幡市・福本氏

彦根市・木村氏

兵庫県・梶本氏

伊丹市・大西氏

加古川市・平田氏

出雲市・藤原氏